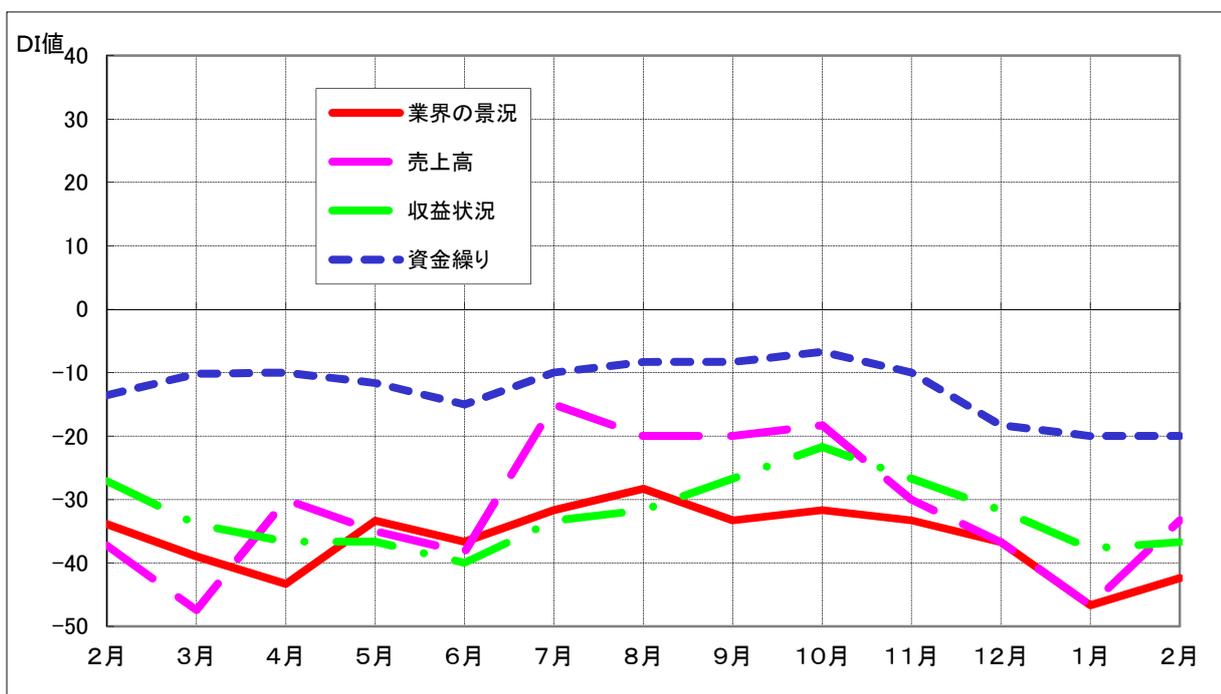


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成27年2月～平成28年2月

単位:ポイント



	H27						H28						
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
業界の景況	-33.9	-39.0	-43.3	-33.3	-36.7	-31.7	-28.3	-33.3	-31.7	-33.3	-36.7	-46.7	-41.7
売上高	-37.3	-47.5	-30.0	-35.0	-38.3	-15.0	-20.0	-20.0	-18.3	-30.0	-36.7	-46.7	-33.3
収益状況	-27.1	-33.9	-36.7	-36.7	-40.0	-33.3	-31.7	-26.7	-21.7	-26.7	-31.7	-37.7	-36.7
資金繰り	-13.6	-10.2	-10.0	-11.7	-15.0	-10.0	-8.3	-8.3	-6.7	-10.0	-18.3	-20.0	-20.0

○2月のDI値は前月と比べ、1項目は変わらず、3項目が改善した。「業界の景況」DI値は5.0ポイント、「売上高」DI値は13.4ポイント、「収益状況」DI値は1.0ポイント改善した。「資金繰り」DI値は変わらなかった。前年同月と比べると3項目が悪化し、1項目が改善した。「業界の景況」DI値は7.8ポイント、「収益状況」DI値は9.6ポイント、「資金繰り」DI値は6.4ポイント悪化し、「売上高」DI値は4.0ポイント改善した。

売上高DI値は対前月比、対前年同月比で改善しているものの、2月の連絡員の報告からは、消費者の買い控え、受注の減少、公共工事の減少といった報告が目立った。売上高DI値は昨年7月より悪化傾向であるため今後の推移に留意する必要がある。

○組合の特記事項からは、製造業の外資製造業から人手不足により、昨年2月の売り上げより1割ダウンとなった。いかに雇用人員を確保するか、いかに1着の加工単価をアップさせるかが、当組合員、全社の共通課題である、と報告があった。また非製造業の商店街からはエンドユーザーの節約・儉約傾向に歯止めがかからず、平均客単価は低下しつつある。また来街者・客数も伸び悩みを見せており、特に土日祝祭日などは、組合員が休業日としてシャッターをおろす店が多くなっていることもあり閑散としている、と報告があった。